

令和3年度（第5回）社会教育委員会議 会議録

- 1 開催日時 令和3年12月15日（水） 14時00分～16時30分
 - 2 開催場所 少年自然の家
 - 3 出席委員 後藤昌委員、坂田委員、後藤強委員、川上委員、菅原委員、徳田委員、善積委員（7名）
 - 4 欠席委員 長谷中委員、田上委員、西村委員、高瀬委員、田中委員、和田委員、山尾委員
 - 5 出席職員 神吉教育指導部長、杉本教育指導部次長、桐山教育指導部参事、梅野社会教育課長、長谷川少年自然の家所長、社会教育課（岡本副課長、川向地域家庭教育係長、浮田主事）
 - 6 傍聴者 0名
 - 7 議事要旨
- 開会 14時00分
委員長あいさつ、神吉教育指導部長あいさつ

（協議事項）

少年自然の家の施設運営のあり方について
（少年自然の家より説明及び施設見学）

委員

ホームページで少年自然の家のマップがぱっと出てこない。今回、マップの配布があり、そのマップを見たら、すごいな、これだけの設備があるのかと一目でわかった。今のホームページの状態は文字等がだらだらとなっていて見づらいかなど。

このマップを見たらすごいものがあると気がつく。これも行きたい、あれもついでに行ってみたいという気持ちがわくが、なかなか活字だけでそこまで伝わらないと思った。

委員

少年自然の家のホームページについて検討して欲しいと思う。

委員

私のホームページの見方が未熟なのかもしれないが、マップを何回探しても見つからず、そこまでたどり着けなかった。今回マップが配布されていいものが出てきたと思いき安心した。

委員

ホームページはリンクを繋げてやればボタン一つで該当ページに飛ぶことができるので、検討してみてもいい。

少年自然の所長

加古川市のホームページの形式を使っているのですが、その構造上の関係で難しい可能性がある。

委員

前回資料を要望したが、結果をまとめてもらい、これで相当見える化につながったかと思う。前回平成 27 年の提言についてどうなったかということや、課題についてもまだ残っていることもわかりやすい。特に利用状況については、こんな風に見ていただいてこそ課題解決に繋がっていくと思うので、これを我々も活用していきたいし、加古川市も問題解決に繋がっていただきたいと思う。

ただ、今日も施設を見せてもらったが、本当にいい施設で、広く、色々なものがあると再認識したが、ただ設備的には問題があるように思う。施設が完成して約 50 年経過しており、そのことが原因の設備関係の課題は簡単に解決することは難しいと思う。施設内でも手を打っている部分もあるが、費用がかかる問題であり、課題解決のための予算もつきにくいと思う。

また、多く利用されているとは言いながら、ある程度利用者に偏りがあると思うし、土日は結構利用があっても、平日の利用は難しいなど、色々な課題がある。

ただ、それをおかしい、だめだ、という目線で見られると難しいが、逆にこれだけの利用があり、更に改善すればもっといい施設になるのではないかと思う。ちょっとした工夫をすることによって、より多くの方に利用いただけるような部分が、努力すればまだまだあると思うので、是非頑張ってください。

ただ、具体的にこうしたらよいと言葉ではなかなか言えないところがある。いろいろ思いはあるが、見せていただいてそのように感じた。

委員

私も初めて中を見せてもらった。今まで入り口付近しか見たことがなかったが、素晴らしい施設だと感じた。

ただ、日帰りコース、1泊2日コースくらいで小学校に来てくださいと言っても、来てもらうのは難しいのではないかと思う。私は今小学生のバレーボールチームを見ているが、そういったスポーツ団体のチームで、夏休み等に、1泊2日くらいで、夜は星が見えるし昼は工作ができるし、広場もあるからそこでみんなと遊ぶとか、十分1泊2日で楽しめる、あるいはものすごい勉強もできるのではと思う。

だから夏休みに1泊2日くらい、10~20人単位で保護者も一緒に寝泊まりしてもらおうようなモデルプランがあれば嬉しいと思う。小学校でなくスポーツ団体に配布すれば、行ってみようかという気持ちになるのではないかと思う。今の小学生は県北部に自然学校へ行くのでなかなか少年自然の家を知らない。だから、何かの形でPR出来たらと思う。

ただトイレがちょっと問題だと思う。今の小学校は改修して洋式トイレに変わって

いるところと、和式のままの学校があるが、洋式トイレに変わった学校の児童だと和式トイレを使うことが出来ない。和式トイレに行っても使えなかったと戻ってきてしまう。そのような状況なので、トイレが洋式になっていないと小学生はしんどいかなという感じはする。

委員

昔は少年団、子供会とか意気盛んな頃はそういった団体で少年自然の家に来て、十分利用していた気がする。そういう団体の代わりに今はスポーツクラブが結構ある。そういう団体に簡単なパンフレットでアピール出来ないか。希望があれば随時下見が出来て、その際には案内を行うようにすればいいのではないか。いきなり利用する、というのも難しいので、そういう仕掛け方もいいのではないか。

委員

それだと日帰りで、昼に工作をして、夜に星空を見て帰る、というコース設定でも良いのでは。

委員

スポーツ団体等のリーダー向けの研修会や、見学会とか、一人はなかなか難しいかもしれないが、そういうのも面白いかもしれない。スポーツ・文化課を通じてスポーツ団体に紹介するのがいいのではないかと思う。

トイレの話だが、簡易設置洋式トイレを設置してみてはどうか。設置も和式トイレの上に置くだけで簡単だし、だいぶ変わらと思う。それだけでも本格的に改修する前に設置してもいいのでは。簡易設置洋式トイレの使用が可能であれば費用も安く済むと思う。

少年自然の家所長

実際に見てみないとわからないが、今ある和式トイレの個室は大変狭い。簡易設置洋式トイレが入るか、確認してみるがその点は心配である。

委員

小学校の自然学校が県北部に行っていることは、以前から聞いていた。この間先生方にお聞きしたら、遠方での校外学習は非常に気を遣うとおっしゃっていた。何かあったとき、保護者にもしも迎えに来てもらう事態になった場合、遠方なら困るし、責任ある立場としては、ここにせっかく施設があるわけで、保護者に緊急で連絡しても、市内なのでなんとかなる。ただ、県北部の方まで、来てくださいとは言えないし、先生が対応するというのも、限られたメンバーの中で大変だ、という声も聞いた。そのため強制ではないが、小学校で少年自然の家の利用についていいように話していただけたら。ここが魅力のない所なら難しいが、十分上手く活用できるだけ施設であると思うので、その辺はお願いしたいと思う。

委員

小学校の現場として、何かプラスアルファがあれば使えるのに、という意見はあるか。

委員

宿泊を伴う活動は、食べること、トイレ、寝ることについては今の子どもたちなので、ある程度水準をキープしておかないと使いづらいところがある。

自然学校は通常4泊することになっている。少年自然の家は2泊くらいだと使い勝手がちょうどいい感じがする。4泊するとなると、ここで全工程を完結しようとするのは難しい。昔はバス旅行で遠出して、それで少年自然の家に帰ってくる、ということをしていたので、工夫したらできるのかもしれない。

ここは費用は安いし、使い勝手はいいと思う。規模の大きな学校だと使いづらいところはあるが、児童の少ない学校ならコンパクトに使用できるのではないか。昔は特別支援学級の子供たちが活動していたが、現在はなかなかしづらい状況で、活動も泊まらない形になっている。

研修会等をこの場所でもつのはいいのではと思った。いつもなら勤労会館等で行うが、このような場所で研修するのも気分が変わるのでいいかなど。今日歩いてみて気持ちよかったので、研修帰りの坂道で振り返りなどできるのではと思った。

委員

先生方の研修について余裕のある範囲で考えてもらえたら。そういう場所として活用するのもこれからの使い方としてはいいのかもしれない。

委員

初めて少年自然の家の中まで見た。本当にこんな素晴らしいところは加古川市で他にないと思う。だからこれを活かして欲しい。自分自身がこの施設について知らないということは、どういうことなのか考えてみた。少年自然の家の利用については、広報で募集している。今日も工作室利用者に質問したら広報を見て申し込んだと言っていた。

広報はきちっと見ているつもりだが、記事をスルーしている自分があるので、文字だけでなく施設の写真やマップを用いて案内や宣伝を行うなど、工夫して広報活動を行うのはどうか。野外活動センターのマップを見たら、こんなに広いんだ、ため池もある、ポニーが3頭もいる等、大いに子どもたちの興味をそそる素材がいっぱいあると思う。

建物は古いかもしれないが、大自然と触れ合うことがコロナ禍の2年間で非常に大事になってきているので、個人的にもっともっといいところを宣伝して学校関係の方、幼稚園関係の方、教育関係の方に使ってもらうことを手始めとして、市民の親子ふれあいの日帰りコース等を企画して欲しい。昔、課は違うが、「広島平和の親子バスツアー」というのを募集していた時期があった。同様に、目に留まり、子どもたちと一

緒に行けるような企画はどうか。近いし、費用もかからないし、危険も少ないし、十分楽しめると思うので、いい広報活動はないかと考えている。

ネットも良いがネットを見る方ばかりではないので、紙媒体で少し費用もかかるかもしれないが、広報に具体的に施設の写真を撮って掲載したらいいのではないかと。少年自然の家に工作室があるなど、施設について知らない方が沢山いらっしゃる。その辺に力をいれたら利用率アップに繋がるのではないかと。

委員

広報かこがわに特集を組んでもらうなど考えてみては。その際はやはり写真入りがいい。記事は文字が多く掲載されているが、写真があるような、そのような広報の掲載方法もあるのかなど。学校関係にはチラシを配布できると思う。そこまで費用をかけなくても、白黒印刷にして、家に持ち帰るのであれば、候補になるのかなど。

よく利用していた側からすると知ってるつもりでいる。加古川市もマンション等も増えてきているし、新しい人も入ってきている中で、もう一度周知してもいいかもしれない。

委員

今日見るまで少年自然の家がこういう感じだとは全然知らなかった。今日はすごい発見というか驚愕というか、見せていただいてすごいよかったと感じたのが一番の印象。

この施設はどちらかといえば小学生以上が対象かと思うので、新生児の親御さんはあまり知る機会がないと思う。ただ、小さい時に知らなければ、小学生になっても触れ合う機会もなければ知る機会もない。そのため、小学校の低学年にこういう施設があると学校を通じてお知らせする方法もあるのでは。

あと見学してみてやはり学校の教育活動で使う方が向いていると感じた。市民の皆さんへ向けての工作教室もありだとは思うが、学校で子どもたちが例えば校外学習の途中で寄ってすごく楽しかった、お父さんお母さん行きたいなというような感じで、入ってくるほうがいいのかなど。

低学年のうちに校外学習の際に少し休憩で寄って、散策して帰るというのがあり、その後、中・高学年は1日計画で朝から晩まで、今コロナもあり宿泊は学校側が難しいと思うので、1泊または日帰りで朝から楽しんでキャンプファイヤーして帰るとか、コロナをチャンスに変えて、自然学校のあり方とかも考えてもいいのでは。

ただネックはトイレだと思う。特に飯ごう炊さん場の屋外トイレは迫力があつた。今の子供にはかなり迫力があると思う。そこだけ少し考えていただいたらもっともっと楽しくなると思う。友達同士ここで過ごしたのがいい思い出になって、また次への利用に繋がると思う。まだやり方があると感じた。

委員

最近ではテレビで自然の中での体験活動を行っているものがあるが、施設の中で体験

をしていけば身につくものであると考えている。

その中でこの施設は自然の家ということ、例えば色々な樹木があり、珍しい樹木もある。その樹木の種類などを、子供らが来た時に教え、勉強の機会を与えてあげるの
はどうか。

それから少年自然の家周辺には様々な動物が生息しているが、害があるからと
ってその動物を教えないことは本当の自然を教えたことにはならない。猪、狐、狸、イ
タチなど様々な動物が生息していることや、動物達に下手に触って噛まれないよう
にと、気持ちに残るような教育があわせて出来たらいいのでは。あまり押し付けてもな
かなか覚えられないので、頭の中にさっと入れてもらって過ごしてもらえればと思う。

もう一つは、少年自然の家にまた来てもらう、ということについて、タイムカプセル
のようなものを掘って埋める事はできないが、例えばビデオで撮影した映像を残し
ておき、次回希望すれば映像がすぐ視聴できる、というような方法はどうか。当時の
映像を見ながら同窓会をする等、また同じ団体が来てくれるとなれば一回の利用では
終わらず、それが次世代の利用に繋がっていくのではないか。

また、椎茸栽培など出来たらと考えたが、それなりに管理が大変だし、利用者も次
回いつ来るかわからないので難しいと思う。

基本的にはどうしたらまた来てもらえるか、ということを考えていて、その素材と
して懐かしさを使うのもいいかと考えている。

委員

アーカイブの話がでた。写真等撮って施設に預かってもらうという方法だと、それ
を担当する方が別途必要になると思うが、少し頭の隅に置いてもらえれば。

委員

もっとPRする意味では、少年自然の家ということで、『少年自然の日』を設けて、
年に1回イベントを行えばどうか。PRすれば結構な人がくると思うが、一度にたく
さんの人が来ると駐車場等も困るので、抽選制で人数を限定して、例えば一回に200
人とか100人とか人数を決めて行く。『少年自然の日』ということで日帰りイベント
に参加してもらい、コースを歩いてもらえればどうか。みんなに生でPRできる場と
いうのがあったらいいかなと思う。

委員

この前もイルミネーションで加古川河川敷にだいぶ人が来ていた。ああいったイベ
ントを少年自然の家で実施して、市民が参加できる人寄せの内容も入れつつ、少年自
然の家を見てもらうというのもいいかもしれない。

委員

気になっているのが、中まで入るのに相当距離があるが、特に入口付近の道がかな
りデコボコになっていること。前から気になっているが、今日見たら改めてやっぱり

なんとかならないかと感じた。本当は舗装すればいいが、ただ舗装という選択が施設にあうのかどうか。また舗装するならば、これだけの距離があるので相当な費用がかかる。

あまり詳しくはないが、碎石を道路に敷くのはどうか。車が少々通っても大丈夫だし、雨で簡単に流れるということもないので、少し手を加えれば見栄えも違うと思う。少年自然の家は歩いて中に入らざるを得ないところがあるので、優先順位の問題もあるが、検討すべき項目かと今日改めて思った。

委員

トイレと合わせて道路についても考えていただいたら。

委員

ポニーの世話をしているが、ポニーがいる厩舎、馬房の柵とかが腐っており、番線である程度補強している。扉もだいぶ風雨に晒されて痛んでいる。なんとかそういうところも修理が出来たらと思うが、そこまで手が回っていない。

委員

確認させてもらってもいいか。加古川市の行事であれば、施設の先行予約が4ヶ月前から可能だと聞いているが、もっと前から予約可能か。

少年自然の家所長

もっと前から予約可能である。

委員

市の行事で各種団体が使う際は、それぞれの団体の担当課に連絡してもらえれば、先行予約が可能なのは知ってほしい。

また、少年自然の家ついて大きな話をさせてもらいたい。

少年自然の家という名前だが、少子高齢化で子供がどんどん減る中で、稼働率をあげるというのは難しい。こうなると、大人も、高齢者の方も使えるような施設にしていくことで、もっと稼働率が上がらないかということの前からずっと考えている。

ここには敷地の奥の方に本岡家住宅があるが、見学のために、現在の入り口側から向かうのは距離がかなりあるためどうなのかと思っている。

ずっと昔に裏から車を入れて、そのまま見学できるという案がなかったか。裏から多くの方が入るなると、大変なことになると思うが、簡単に裏から入れるのもいいのではと思ったことがある。ただ、裏に入り口を設置するとなると、ゲートを設置して監視する人が必要になってくる。人も費用もたくさんかかるとは思うが、稼働率上げるためには、そういう大きな考え方も必要では。いっそのこと名前も変えてリニューアルして、こんな面白いものがあるのだということを出していくのも一つの起爆剤として面白いかなとは思っている。

また一度検討事項としてほしい。行政が一度あり方について考えようとしているなら、そんな考えを提案するのもいいかと思う。

(報告事項)

- (1) 全国社会教育研究大会 (10/28) の参加報告について
(後藤強委員より説明)

- (2) 近畿地区社会教育研究大会 (11/22~28) の参加報告について
(社会教育課より説明)

- (3) 兵庫県社会教育研究大会 (11/29) の参加報告について
(坂田委員より説明)

- (4) 新東加古川公民館の使用料の改定について
(社会教育課より説明)

(その他)

なし

- 閉会 16時30分
副委員長あいさつ